

質問者氏名	質問事項	質問要旨
1 番 村野由紀子	1. 箱根町の防災対策について	<p>昨年12月22日、新潟県糸魚川市の中華料理店で火災が発生しました。強い南風の影響で火災は広がり、糸魚川市消防本部などによりますと、燃えた住宅や商店などは約140棟に上り、延焼範囲は約7万5千平方メートルと広範囲に及びました。また、市街地での火災の焼損棟数としては、東日本大震災を除いて過去最多ということです。気象庁によりますと、最大風速14.2メートル、最大瞬間風速24.2メートルを記録したとあります。この大規模火災を契機に、住宅や店舗などが密集した市街地における大火の危険性や消火活動の難しさが改めて浮き彫りになりました。被害が広がった理由として、強風による飛び火が主な要因だそうです。被災した市街地は建築基準法に基づく準防火地域に指定されておりましたが、古い建物は十分な対策が進んでいないのが実情です。箱根町は火災は少ないと思いますが、糸魚川市の火災を教訓に改めて認識することが必要ではないでしょうか。</p> <p>① 木造家屋密集地域、消防車両の進入困難などの地域の把握や現状についてお伺いします。</p> <p>② 出火防止対策、初期消火対策など自助、共助の取組、向こう三軒両隣による近助で助け合う取組についてお伺いします。</p>

	<p>2. 箱根町の文化財等について</p>	<p>ここ数年続いている震災などの影響で、熊本城をはじめ多くの文化財が被災しました。修復に向けた取組は始まっていますが、復元の見込みの立たないものもあるそうです。熊本地震では、国の指定文化財や登録文化財で134件、地方自治体の指定する文化財で230件、計364件に被害があったことが明らかになっています。また、文化財に指定・登録されている建物は、適切な維持管理が行われていれば、大きな地震にも耐えられるそうです。箱根町では、93の文化財が指定・登録されていますが、町が所有している文化財等についてお伺いします。</p> <p>① 施政方針の中に、国史跡箱根旧街道の保護対策についてありましたが、文化財を守るための日常の管理などの取組についてお伺いします。</p> <p>② 民間が所有している文化財等の意識を高める取組についてお伺いします。文化財等に指定・登録されていない歴史的なものがあると思いますが、どのように把握されていますか、お伺いします。</p>
--	------------------------	--